

一大公民館イベントで地域の活性化を 教育長 計画的なものがあれば惜しみなく支援する



2018年11月にプレオープンした鷹栖地区住民センター
今後、さまざまなイベント開催が期待されます

この質問は、議会主催の「地域を語ろう会」での町民の皆さんの意見をもとに議会でも、一般質問として意見表明するものです。

地域が活性化していくためには、人と人とのつながりが重要です。一方で、つながりの機会の確保が課題になっています。公民館イベントは比較的参加しやすく、機会の確保として効果的です。

そこで、既存の公民館活動とは一線を画する新たな事業活動を提案します。

各地区で100万円を自由に使える、住民に完全にお任せのイベントはいかがでしょうか？

新しい実行委員会をつくることにより、新しい風が吹き込みます。新しい実行委員が集えば、新しいイベントが生まれ、新しいイベントが生まれれば、新しい参加者が生まれます。

新旧住民の交流や町内会の集まりのきっかけづくりになります。何よりも実行委員会に集まる住民同士の絆が深まります。

私たち議員も積極的に参加していきます。

また、各地区を結ぶ公共交通機関の確保により、地域間同士のつながりも期待できます。

100万円イベントにより、地域内外の人とのつながりを確保し、地域の活性化を図ることができると思います。

答弁 地域活性化のため、議員皆さまが積極的に参加したいという行動力と信念を伺いました。

公民館イベントにて、地域住民の人と人とのつながりを大切にしたい新たな企画など、活気ある住みよい地域になる事業には、支援したいと考えています。

質問 どの年代層も、地域の中で孤立しないように生きることを望んでいることは確かです。そのためにも人と人とのつながりを重視した方策が必要です。100万円イベントで全ては解決できませんが、きっかけにはなります。

答弁 今、議員がおっしゃる内容は、私は重々分かります。新しい住民とのかかわり、またいろんな方とのきっかけ作り、地域の中で、本当に今何が必要か、何をしなければいけないかということ、公民館運営委員会で考えていると思っています。

全く100万円を出さないのではなく、皆さんで考えていただいて、**何か計画的なものがあれば、惜しみなく支援したい**と思っています。

質問 5地区全てで取り組むことは難しいと考えますが、例えば毎年1地区ずつ順次開催するなど、あらためて役場と協議したいと考えていますので、ご協力をお願いします。



「地域を語ろう会」は議会活性化委員会が主催しています。 中家彰議会活性化委員会長の想いを聞きました。

Q 今年は「地域を語ろう会」の開催内容が変わりましたね。

A 今までは、住民の意見に対して、担当議員と議長が対面方式で答える形でした。ただ、参加者の固定や減少が続いていたことと、「町長とのまちづくり懇談会」を踏まえると、参加者に対して差別化できていない問題があり、議員皆さんが**何か変えなければいけないという意識**はありましたね。

ワークショップは、住民4人ぐらいのテーブルに議員がはいることで、膝を付け合やす意見交換ができるということで取り組みました。

Q ワークショップを通じて、参加者や議員の反応はどうでしたか？

A 参加者からは、議員と身近に話し合うことができ良かったという評価をいただきました。

また、従前の対面式では、議会としての答弁なのか、議員個人の答弁なのか、町の取り組みの説明なのか、説明責任を意識して話していましたが、ワークショップでは、議員個人の意見として話すだけなので話しやすかったです。双方にとって、今までよりは意見交換できる雰囲気はあったのではないのでしょうか。

Q 今回、「地域を語ろう会」での意見は、どのようにまとめ、一般質問につなげましたか。

A 今回は5地区と老人会ではそれぞれ違ったテーマのもと、いろんな意見があり、まとめるのが難しかったです。

最終的には、役員会で検討した結果、「移住と地域活性化」というテーマの意見をまとめることにしました。

さらに、地域活性化というテーマの意見は、二

つに集約されたと考えています。

一つは、楽しい農業、農業経営の安定化、新規就農者や後継者など、農業を通じて地域を活性化していくことです。

もう一つは、地域を活性化のためには、「人と人とのつながりをつくるきっかけづくり」行政を含めてみんなで考えていかなければならないということです。

今回は、議会として後段の**「人と人とのつながりをつくるきっかけづくり」**を意見として述べていきます。

Q 一般質問「公民館イベントで地域の活性化を」の作成は大変でしたか。

A 一般質問については、役員会で原案を作成しましたので苦労はなかったです。

地域の活性化で、なぜ公民館イベントかと言うと、科学的な知見で言えば、人と人とのつながりを意識し話し合いの場に参加している人のほうが、運動習慣のある人よりも健康というデータが最近ありましたよね。

地域の中で楽しく生きるということは「人と話をする」ことです。よって、**「孤立からの開放」という問題をみんなで取り組んでいくことが重要**と考えています。

そのためには、公民館イベントを通じて、人と人とのつながりをつくり、それが地域の活性化に結びついていく、そのように考えています。

皆さまのご意見・ご感想をお待ちしています。

（連絡先）鷹栖町議会事務局 ☎ 0166-87-2111（内線 302・303）
gikai@town.takasu.lg.jp

「子育て」

不登校問題、
スクールソーシャル
ワーカーの活用や、
地域で見守る体制
づくりが必要だ。

北野保育園で
0歳児の
受け入れを。

北野地区 8月28日
17名参加



放課後児童ク
ラブ施設のトイレ
を改修してほしい。
ぼっとん式トイレに
慣れない。

放課後児童ク
ラブで住民セン
ターを利用する場合、
無料にしてほしい

子供た
ちの見守りには
地域住民等のコミュ
ニケーションが重要。

学童保育や寺小
屋、ダンスなどに
参加しており、
ぶらぶらしている子が
少ない。

「農協の旧支所等 跡地の利活用」

鷹栖地区 9月3日
12名参加



道の駅、農産物の
直売所、公営住宅、
サロンなどの機能を持っ
た複合施設がよいのでは。

町や農協の跡
地利用の方針が
見えないと、利活用を検
討できない。

「生涯活躍社会と私」

町老人会 10月17日
7名参加



声をかけ合う
関係が重要。

公共交通
手段が充実
してほしい。

町内会の
合併も必要では。

高齢者事業団が
減少している。

退職後
に生きがい
をもって仕事したい
人たちへの仕事の提供
が必要。

「移住者と地区の活性化」

(3地区共通テーマ)

北成地区 8月29日
11名参加



認知症
に効果のある懐
古浴が観光につな
がるのでは？旧北成小が活
用できる！

活性化≠人口増
人と人とのつながりが
活性化！

地区行事や
イベントでの
つながりが移住者と
関わるきっかけに
なるのでは？

車社会なので
郊外の住民に
はガソリン代の補助をし
てほしい。

あったかファーム
のような施設が
北成にあれば
集まるきっかけになる

中央地区 8月30日
16名参加



鷹栖町のP
R、アウトドア
など別方面へのアプロ
ーチも有効では？

地域を語ろう会



農業を子供に
継がせるためにも、
楽しく稼げる農業を！

町内会にこだ
わらない地域住
民との関わりが大事。公
民館事業の活用を！

移住体験や
交流などの場合、
宿泊施設に課題がある。
空き家を活用
できないか？

町民がイベン
トに関わることで
継続することが重要。

北斗地区 8月31日
6名参加



移住者には
イベントなどに
参加して欲しい。

老後の生活が
心配。

北斗地区の
素晴らしさを
伝えたい！

人口増が活性化に
つながるため
公住・集客施設が
必要では。

※ コメントと写真には関連性はありません。
(顔写真の近くにあっても、その方がそのような発言をしたわけではありません。)
※ 写真の使用については会場で確認をしています。